

# 津山地域版 農業ビジネスモデル ～持続可能で強い農業の実現に向けて～

## 津山市の掲げる農業ビジネスモデル 3つの柱

- ①生産者の所得向上
- ②担い手の育成と確保
- ③持続可能で実効性のある仕組み

### 既存助成制度の維持・拡充

- ◆就農・後継者等担い手の確保支援
- ◆集落営農・法人化支援
- ◆有力作物の産地形成支援
- ◆地域ブランドの強化支援
- ◆スマート農業機器等導入支援
- ◆農地有効活用の推進  
(例：小麦の二毛作モデル)

### ※小麦の二毛作モデル

- ◆水稻と小麦の二毛作を促進
- ↓
- 水田の有効活用  
あわせて、国の二毛作への助成制度も活用  
⇒農業所得の向上を図る

### 生産者

小規模農家

大規模農家  
(法人等)

JA・スーパー等

倉庫

集荷拠点

既存の域内直売所  
◆機能の維持・拡充

域外直売機能（関西圏）  
◆アンテナショップ等

### 【付加価値化】

- ◆加工
- ◆ブランド化
- ◆安全安心
- ◆規格外品の利活用 等

### 地域商社（法人化予定）

※地域金融機関、民間事業者の参画

- ◆販路開拓・確保
- ◆情報発信
- ◆品質管理
- ◆与信管理
- ◆ブランディング

外部人材  
等

地域おこし  
協力隊員

### スマート農業実証事業

地域企業 農機メーカー  
行政

スマート設備の導入

- ・IT管理
- ・水耕栽培
- 等



担い手の育成と確保

- ・チャレンジ就農
- ・若手農業者育成
- 等

関西圏

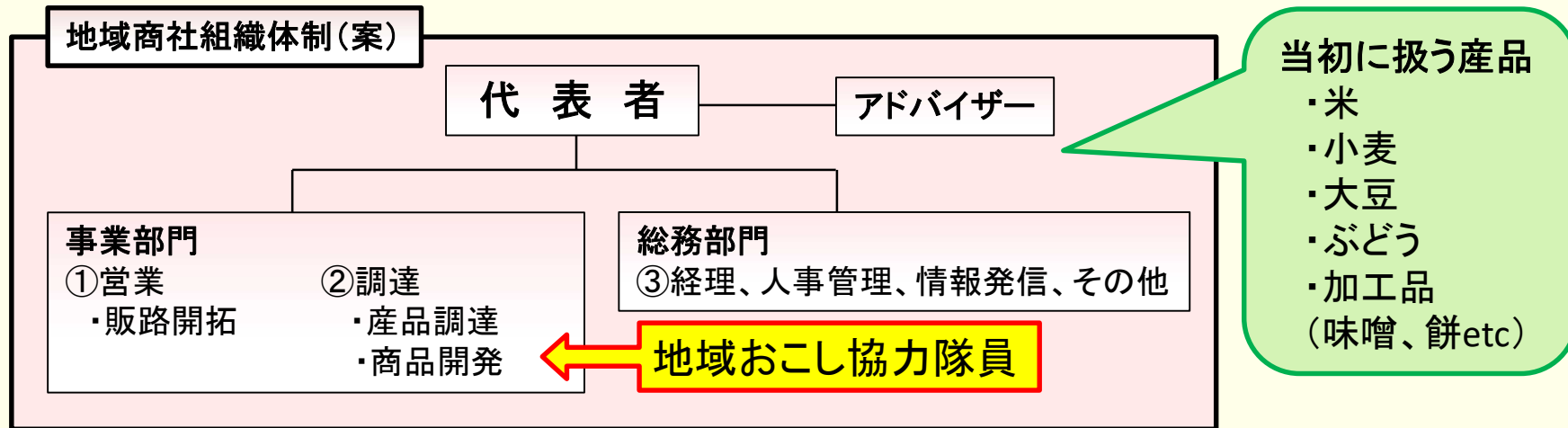
首都圏

海外

- ◆百貨店
- ◆ホテル
- 等

# 津山市の進めている「地域商社」とは？

津山地域（津山市・鏡野町・勝央町・奈義町・久米南町・美咲町）の農畜産品（加工品）を取扱う会社（商社）です、現在組織化（法人化）を目指しています



## 地域商社で、地域おこし協力隊員にやってもらうこと

地域商社の事業部門で「産品調達」や「商品開発」、「販路開拓」などに携わってまいります

特に、津山市の「生産者や事業者」と、「地域産品の取引（調達）」を担ってもらう予定です

また、地域商社設立前までは、「地域商社設立準備組織」の一員として商社自体のしくみづくりを、一緒に考えていただきます

# 地域商社の設立に向けたスケジュール等(案)

R2当初予算承認

R2.4.1

R2.5.1

R2.10月

設立準備組織の  
立上げ準備

- ①組織規約決定
- ②口座開設手続き
- ③事務所・車両リース等手続き

設立準備  
組織の設置

- <準備組織体制(案)>
- ①会長
  - ②副会長
  - ③アドバイザー(月3回)
  - ④業務担当
  - ⑤総務担当
- 検討会等  
参画者  
(月額報酬)
- + **地域おこし協力隊員**

<設立準備活動>

- ①定例会議(月2~3回程度)
- ②販路開拓・確保活動(出口戦略)
- ③生産者・事業者とのネットワーク形成(JAと競合しない)
- ④JAほか関係組織とのネットワーク形成(協調体制)
- ⑤インターネット等情報発信ツールの組立て等
- ⑥本設立に伴う手続き 等

地域商社  
本設立

- ※合同会社 等
- H2.3の信金中央金庫による「事業計画等」に基づく仕組み
- ◎現時点での公表内容
  - ①売上目標 R7年度4.1億円
  - ②初年度体制 4名
  - ③初期取扱産品 米・小麦・大豆・ぶどう・加工品

事業計画案の提出  
(信金中央金庫より)

地域商社のしくみについて共に  
考えていただきます！

代表候補者の  
公募  
(地域人材)

代表候補者の  
決定

※準備組織に参画

代表者として  
就任

## 参考： 岡山県津山市 の農業、特産品

1. 農家戸数 5, 180戸 (H27.2.1)
2. 耕地面積 56. 40Km<sup>2</sup> (H30.7.15)
3. 米収穫量 13, 400t (H30年)
4. 産出額 9, 900百万円 (H29年)
5. 名物・特産 つやま和牛、干し肉、牛煮こごり、よめなかせ、そずり鍋、津山ホルモンうどん、津山黒豚、津山産小麦「津山のほほえみ」、津山ロール、津山ショウガ、巨大胚芽米「COCORO」、自然薯、あば氷温熟成米、黒大豆、ジャンボピーマン、白桃、ピオーネ、西条柿、巻柿、作州栗、新高梨、作州津山地ビール、地酒、和菓子、etc